

# みんなで作る「標識コハクチョウ名簿」

コハクチョウのカラーマーキング調査をロシアと共同実施

北極圏で生まれて日本に渡るコハクチョウが増加中

ロシア北極圏のチャウン湾で繁殖するコハクチョウは日本で越冬することが分かっています。日本で越冬するコハクチョウは増加傾向にあり、2021年1月には約5.3万羽が数えられています。温暖化により繁殖や越冬の条件がよくなっていることが一因と考えられていますが、今後コハクチョウの数はどうなっていくのでしょうか



標識を付けたコハクチョウ名簿を作って、生存率や繁殖年齢を調べます

コハクチョウへのカラーマーキングの装着と目撃記録により、成鳥と幼鳥の年生存率、初回の繁殖年齢を明らかにして、今後の個体数の予測や他地域との比較を行います。

## 調査のしくみ

7-8月にロシアでコハクチョウに首輪・足環を付ける

報告フォームで標識番号と地点を登録



地図 航空写真

地名または住所を入力してください。住所検索

緯度	38	経度	137
お名前 (必須)	メール (必須)		
観察日	悪い出せない場合はおよその年月を記入してください。		
種名 (必須)			
観察場所	都道府県	地名	
大まかな地名で構いません。			



11月ごろから日本に飛来

コハクチョウ名簿HPができあがる

## 標識コハクチョウ名簿を使ってデータを分析します



国内移動や越冬地への回帰性を調べます



繁殖年齢や死亡率を明らかにします

1羽ずつのコハクチョウについて観察地点をまとめた「標識コハクチョウ名簿」

下記で公開中です。

<https://sites.google.com/view/hakucho-meibo/>

## 調査体制と支援金の使い方

### ロシア

標識を装着：Diana Solovyeva（Institute of Biological Problems of the North）

最近日本で見かける赤い首輪や足環のコハクチョウは、Dianaさんが標識した個体です。

### 日本

観察記録受付、コハクチョウ名簿作成、データマッピング：

神山和夫（バードリサーチ）、牛山克巳（宮島沼・水鳥湿地センター）

支援金はコハクチョウに装着する首輪・足環、そしてロシアでの捕獲調査に必要な旅費として使用させていただきます。来夏の首輪・足環を購入するお金が足りないため、ぜひ支援をお願いいたします。